

【 P 35】

施策 3 低コストな米づくり

②ICT（情報通信技術）の導入推進

ICT（情報通信技術）の活用による生産性の向上や農産物の高品質化、差別化を推進します。

● 肥培管理等の栽培暦のデータ化、気象変化や病害虫の発生状況など営農に必要な情報の迅速な把握、地理情報システム（GIS）や位置情報システム（GPS）の活用による農地や農作物の生育に関する情報の表示・分析など、担い手のニーズに合わせて ICT（情報通信技術）の導入を推進します。

●**スマート農機具等の活用により、省力化を推進するとともにコスト低減を図ります。**

【 P 38】

施策 6 新たな品目・品種への取り組み

① 新たな産地形成

各地域の特産品の掘り起しや消費者ニーズに対応した新たな農産物の生産を推進します。

- 本市の農産物の現状を把握するための掘り起し調査や、掘り起こした農産物の活用方法や商品化の方向性などの検討を進めます。
- 農業普及指導センター等との連携のもと、既存施設園芸の作型、品種の改善による高収益化や新規作目の導入を図ります。
- 薬用作物の産地化に向けた、栽培技術の確立に取り組みます。
- 植物工場における薬用植物栽培試験を推進します。
- **大規模園芸産地化の形成を推進します。**

【 P 44】

施策 11 農業経営の確立

②農地集積・集約化の推進

地域の話し合いにより合意形成を図りながら、担い手への農地集積及び集約を進め、規模拡大を図るとともに効率的な土地利用を図ります。

● 農業委員会や農地利用集積円滑化団体との連携により、意欲ある農家の掘り起しを促進し、農地中間管理事業や農地利用集積円滑化事業※21 を活用して担い手への農地集積、集約を促進します。

● **地域の話し合いをさらに活性化させることにより、人・農地プランの実質化を促進します。**